

「農地の将来像を描く目標地図への取り組み」

京都府 綾部市農業委員会 志賀郷地区連絡会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	19人
○ 農地利用最適化推進委員	:	17人
○ 事務局職員	:	3人
○ (関係団体名)	:	
○ 市町村行政との連携状況	:	必要に応じ、市担当者、事務局、現地推進役等で調整会議を開いている。



志賀郷地区での地域計画説明会

2 地区の特徴、状況、課題

- 綾部市は、旧13町村が合併した市で12地区で構成されている。
- 志賀郷地区は、面積26.90㎡、人口1099人で市北西部に位置し、のどかな里山に囲まれた地域。
- 過疎と高齢化という中山間地域共通の課題に対応するため、ほ場整備と集落営農への転換を進めた。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 平成29年7月に新体制に移行し、令和5年7月に改選があった。
- 京力農場プランの実体化に向け、集落の代表、農業者、自治会役員等が参加し、協議を進めてきた。
- 京力農場プランは、152集落のうち、47集落で37プランが作成
- 志賀郷地区は12集落のうち、8集落で作成

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 令和5年2月 現況地図作成のため、集落から現耕作者の確認や将来の意向把握のアンケートの作成依頼（6月末）
- 集落から農地データ（アンケート）の提出を受け、市農政課で現況地図作成（年代別、利用状況別で色分け）
- 令和5年12月 農業委員・農地利用最適化推進委員の呼びかけにより集落の農事部長、市担当者が参加し、地域計画策定に向けた集落や担い手の意向調査や目標地図作成の進

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください